

両城・三条地区

まちづくり計画

みんなが愛せる理想のまちへ

~Let's try together!!~



平成21年9月

三条地区まちづくり委員会

～ も く じ ～

1	はじめに	P 2
2	両城・三条地区の概要	P 3
	(1) 人口・世帯数		
	(2) 地域図		
3	Welcome! 歴史再発見 階段の町へ	P 5
	(1) この町の歴史		
	(2) この町のお宝（名所）		
4	両城・三条地区まちづくり計画の骨子	P 11
5	両城・三条地区まちづくり計画 実施計画	P 13
6	計画策定までの流れ	P 18
7	計画策定に関わったメンバー	P 22
8	地域内の各種団体一覧	P 24
9	おわりに	P 25

1 はじめに

● 三条地区まちづくり委員会 会長 山上 文恵

呉市の地域力再生による地域の自主的で自立したまちづくりを推進していくために作られた「市民協働のまちづくり（ゆめづくり地域協働プログラム）」により、わが両城・三条地区においては、子どもから大人までが集まり「自分たちの住んでいるまちを住んで良かった、住みつづけたい、移り住みたいまちにする」ためにワークショップを行い、意見を交換し合いました。

地域の歴史を再発見し、知恵と行動力を出し合ってまちづくりに頑張っていきます。人に支えられ、人に育てられる「まち」の良さがあふれるように。



● 三条地区自治会連合会 会長 井石 光治

計画策定部会の方々が山上会長を中心に「まちづくり計画」を策定されたことに、御礼と感謝申し上げます。

幸いこの地域には、多くの歴史、文化、自然等々の財産があります。しかし、当地域も高齢化・少子化が進みつつあり、今後どのような取り組みがなされるべきかという大きな課題があります。町民ボランティア活動の育成や高齢者を含む町民の技術と経験を活かすシステム作り、故郷意識の醸成等を通じた人づくり、組織づくりが必要であると思っております。まちづくりは形ではなく、この地域の人づくりから始まると思っております。

これまで以上に皆様方のご協力をお願いする次第であります。



● 三条地区まちづくり委員会 計画策定部会 会長 布村 征司郎

この地域には“まちづくり”の資源が多い事を知りました。5，10年後の仲間と自分の為に、身近な事から行動したいと思えます。



2 両城・三条地区の概要

三条地区自治会連合会の区域（以下「両城・三条地区」という。）の概要は次のとおりです。

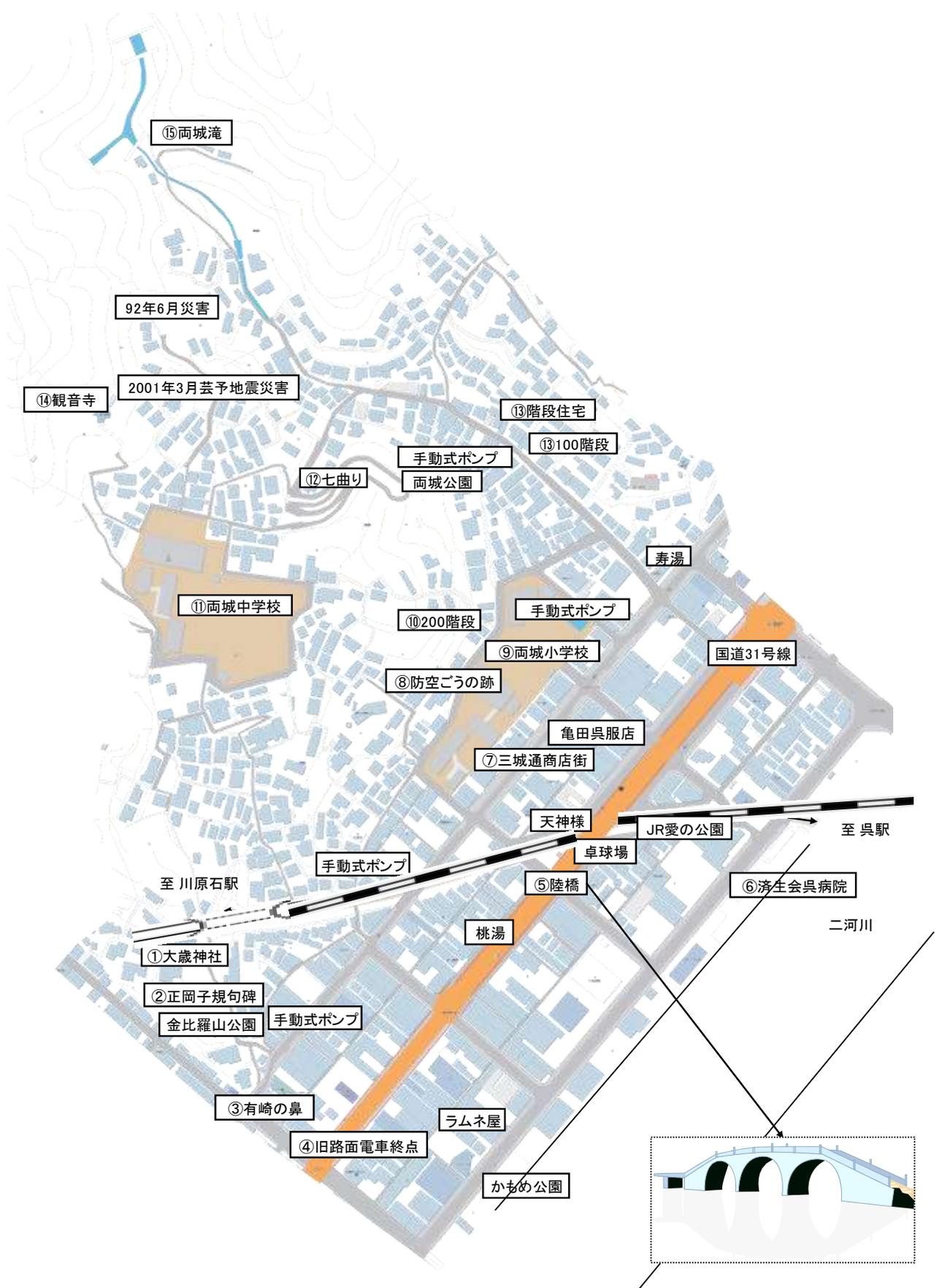
(1) 人口・世帯数

町名	世帯数 (世帯)	人口 (人)	内 訳		備 考
			男	女	
三条1丁目	445	941	424	517	
三条2丁目	340	652	317	335	
三条3丁目	256	477	222	255	第8地区自治会連合会の区域を一部含みます。
両城1丁目	171	349	149	200	
両城2丁目	280	544	253	291	
計	1,492	2,963	1,365	1,598	

(平成21年3月末現在)

(2) 地域図

⑯八畳岩



3 Welcome! 歴史再発見 階段の町へ

【まちづくり委員会の基本的考え方】

三城（条）の歴史を若い世代へ語り継ぎ、地域の宝を残していきます。
そして わが三城（条）を地域外、市外へアピールしていきます。

私たちの住む町は、両城地区と三条地区の二つの地区から構成されています。この二つの地区を併せて「両城・三条地区」といいます。

両城地区は、坂道と階段に象徴される斜面に住宅地を中心とした市街地を形成しており、呉湾を一望できる「素晴らしい眺め」と「階段住宅」そして「呉市で一番早く朝日のあたる町」としても有名です。

三条地区は、両城の斜面市街地のすそ野から二河川に至るまでの平坦地に市街地が形成され、地区内を国道31号と三城通商店街が南北に並行して走っており、古くから商業の町としても知られています。

両城・三条地区は、呉市の歴史と同じように旧海軍と共に歩んできた町であり、呉市の中心部にも近く、早くから都市化が進み、交通の便や医療機関も充実したとても住みやすい町です。それが私たちの町「両城・三条地区」です。

私たちは、このまちづくり計画の作成にあたり、まず、自分たちの町をよく知ろうということで、みんなで実際に歩いてみました。そんな町のあちこちに、私たちが知らなかった素晴らしい眺望や史跡を始め、旧海軍や当時の市民生活をしのばせる足跡が数多くあることを知りました。

こうした町の歴史や地域資源を「地域のお宝」として、地域全体で大切に守り育てていき、地域の人だけでなく他の地域の人にも知ってもらい、次の世代の人に語り継いでいくことが必要だと感じました。

もちろん名所・旧跡といった歴史的遺産だけでなく、地域に根付いているイベントや祭り、ボランティア活動などのソフト面での住民活動も含めて、守り発展させていくことがまちづくりの基本になるのではないのでしょうか。

そこで、まず、この地域の歴史的沿革と代表的な「お宝」（地域資源）の一部について紹介します。

(1) この町の歴史

① 二川町の沿革

私たちの町「両城・三条地区」は、川原石地区とともに明治35年4月1日に安芸郡吉浦村から分離独立して「二川町」（ふたかわちょう）となりました。

明治20年末の両城・川原石の両地区の戸数は、合わせて137戸で、人口は617人でしたが、呉鎮守府の設置（明治22年）にともなう道路・港湾等の整備により市街化が急速に進みました。

10年後の明治34年には、戸数1,567戸、人口6,909人となり、10倍以上に達し、地区の変貌は著しいものがありました。そのため、両地区を分離独立させることが、この地域にとっても有利と考えて、明治34年7月27日の吉浦村議会で両地区が吉浦村から分離することが可決され、翌35年4月1日に「二川町」が新しく誕生

することになりました。

しかし、二川町の誕生はあくまでも「呉市誕生」の一過程であったことから、半年後の明治35年10月1日に和庄町、荘山田村、宮原村と二川町の4町村が合併して呉市が誕生しました。この「二川」の名称は、現在でも「二川公民館」「二川児童館」「二川母親クラブ」等に使用されており、呉市の発展とともに古い町名等が消えていく中で、歴史の一頁として、いつまでも残しておきたいものです。

② 町名の由来

「二川町」の町名の由来については、次のようないくつかの説があげられています。

- ・川原石には「大下川」、両城には「両城川」という二つの川が流れているから「二川町」という説
- ・両城の「両」と川原石の「川」で「両川」。両は二つであるから「二川町」という説
- ・二河川下流の一带を総称して、二川原と呼ばれていたことがあり、この二川からとったのではないかという説
- ・二川町地名の由来は、二河川の本流と支流にできた「二ツ原」による説

以上のように各説が言われていますが、根拠となる明確な史実もないので、どの説が本当かよくわかりません。

(2) この町のお宝（名所）

① 大歳神社

大正時代に今の金比羅公園にあった金刀比羅宮と和庄町にあった大歳神社を合祀して、現在の地で地域の鎮守社となりました。神社の鳥居には、普通は神社の名前が書かれています。この鳥居には所在地である「城山」と彫られています。



② 正岡子規句碑

金比羅山公園の小高い有崎城址に、呉湾を背にしてひっそりと建っている碑面に「呉港 大船や 波あたゝかに 鷗浮く 子規」とあり、子規の真筆の復刻とされています。この句は明治28年3月9日に、友人が海軍の従軍記者として軍艦松島に乗り組み出征するのを見送るため、呉を訪れた子規が詠んだものです。

③ 有崎の鼻・有崎城址

三条通り南端の海岸交番横にある高さ20mほどの崖で「有崎の鼻」又は「荒崎の鼻」と呼ばれ、明治に至るまでは崖下は海で波が打ち寄せていました。「藝藩通志」（げいはんつうし）にはその崖上（現在の金比羅山公園）に「有崎城」があったとされています。



④ 二川地区に旧路面電車が走っていた

明治42年に日本で7番目の路面電車が、現在の三条2丁目から本通4丁目まで開通しました(その後、広長浜まで開通)。蒸気機関車も珍しい当時、電気で走る乗り物に驚いたものです。このチンチン電車は「呉市民の足」として愛され、昭和42年に廃止になるまで58年間走り続けました。



⑤ 陸橋

現在の国道31号線で西本通にあった当時国鉄呉線との踏切が平面交差で、電車の乗換や車の通行の障害になっていたため、線路の上を立体交差の跨線橋にしたものです。これは旧海軍のお声がかりで基礎工事が始められましたが、終戦で一時中断となり、昭和28年に12年越しに完成しました。

この完成を待って呉市電の軌道復旧工事が開始され、陸橋の上を市電と車が並んで走る光景が見られるようになりましたが、開通後わずか13年で市電は廃止され、陸橋は車だけの道となりました。

⑥ 済生会呉病院

昭和5年に呉診療所として開所し、その後呉病院に、さらに昭和27年には社会福祉法人恩賜財団済生会呉病院と改称しました。現在の建物は平成7年にでき、地域に根ざした病院として大きな存在です。地域のニーズと信頼に越える質の高い医療を目指しています。



⑦ 三城通商店街（三条コミュニティ道路）

国道31号と並行して地区を南北に貫く三城通商店街は、昔から海岸通り商店街と連なり、商業の町として栄えてきました。昭和62年にコミュニティ道路として整備され、歩道をゆったりと確保し、車輛は一方通行となりました。通りは地域の人がいとも植木の手入れや清掃しているのできれいに保たれています。



⑧ 呉空襲を体験した防空壕

両城小学校の西門近くに、戦争中に海軍の資材倉庫として掘られた防空壕が歴史の証人として残っています。昭和20年の呉空襲では、多くの方が犠牲になりましたが、この防空壕に身をよせた人々は、猛火から逃れることができました。



⑨ 両城小学校

明治41年に現在地にて呉市立両城尋常小学校として創立（児童数：916名）。昭和5年に現在の両城中学校の場所を本校とし、下の校地は分教場となりましたが、空襲により分教場は焼失しました。昭和23年に焼けた跡地に新校舎が落成し、上の学校から下の新校舎に移転し、上の学校の跡地は両城中学校に引き継がれることとなります。



⑩ 200階段

平地にある両城小学校と山頂付近にある両城中学校は「両城の200階段」で結ばれていますが、実際は230段近くあり今も部活動のトレーニングに使われています。昔は両城中学校が小学校3～6年生の本校であり、本校と分校の連絡は毎日、大谷を廻るか、七曲がりを通る以外に道がなかったため非常に不便でした。原山直兵衛が裏門から上に通じる路を思い付き、あらゆる困難を排除して通学道路を開通させ、市に寄附したものです。

海上保安官を主人公にした映画「海猿」のロケ地にもなり全国から見学者が訪れ、ちょっとした観光スポットにもなっています。

積まれた石段を登り振り返ると眼下には呉の町並みが広がります。手前にはJR呉線や街路が広がり、少し遠くに眼をやると呉湾に浮かぶ大型船が見えてきます。



⑪ 両城中学校

昭和22年に学制改革により新制両城中学校が港町小学校新宮分校を仮校舎として設立（生徒数：449名）。翌年の昭和23年には、両城小学校が移転した跡の校舎と両城工員宿舎を仮校舎として併用して授業が行われました。昭和36年には、火災により校舎が全焼したため、両城小学校や港町小学校の教室を借用することになりましたが、昭和37年に第1校舎が建てられ、その後徐々に増設されました。



⑫ 七曲り

カーブが鋭角で通行車両は離合が困難なスイッチバックの私道（生活道）です。これに併設された歩道が7回ジグザグに登る階段であるために通称「七曲り」と呼ばれています。海軍工廠時代は、工員宿舎が現両城中学校にあったため、この道を工員が整列して、登り下りされたそうです。



消防車及び救急車等の大型緊急車両がこの道を通行するためには、運転技術が必要なことから、かつてここが教習場所とされていたそうです。

この七曲りも1997年(平成9年)に道路工事がされ、私道部分をそのまま残して、新しく道路が取り付けられました。

⑬ 階段住宅と100階段

山裾で急傾斜地が多くある両城地区には、その地形を実に巧みに利用した住宅が作られました。この地区を遠くから見ると集中する家々が階段状に見えるため「階段住宅」と呼ばれるようになりました。（中央部の階段が100階段です。）



そして住宅の周りには明治時代後期に流行した「赤れんが」を使用した塀が数多く見受けられます。その積み方や穴形、配置などは各家独自のデザインとして現存しており、呉の歴史を語る景観の一つとなっています。

⑭ (両城山) 観音寺

通称「七曲がりの坂」を登って、両城中学校右手の丘にあるお寺で、古くから弘法大師を祀るお堂があり、初代の海軍鎮守府長官が海上安全を祈って不動明王を祀ったとされています。境内からの眺望は素晴らしく呉湾が一望できる絶好のビューポイントです。



⑮ 両城川と両城滝

両城川は、この地域を流れるたった一本の川で、両城滝から第一保育所下の道に沿って流れ、二河川に注ぐ溪流です。滝の下から全て蓋がけされているため、現在では川の姿を見ることはできませんが、上流には規模は小さいながら、落差10m程の「両城滝」が懸命に飛沫(?)をあげています。



⑯ 八畳岩

標高200m位で、三城通商店街から徒歩1時間位で到着することができます。住宅街を抜け、尾根沿いの道を経て岩にたどり着いた時の眺めは絶景で、広く平坦な岩の上に腰を下ろし目を閉じると「呉の鼓動」が聞こえてくるようです。



⑰ 両城中が企画したご当地ポテトチップス発売

呉市の両城中が企画した肉じゃが味のご当地ポテトチップスが、平成21年4月にカルビーから発売されました。市の特産品を使った商品アイデアを食品企業に提案する昨年の授業がきっかけで、まちづくりを学んでいた当時の3年生が発案し、商品化されたものです。パッケージ裏には全校生徒へのアンケートを基にした市の紹介として大和ミュージアム(宝町)などが掲載されています。



まち歩きの一コマ



4 両城・三条地区まちづくり計画の骨子

(1) まちづくり計画の概要

地域の一人ひとりがまちづくりの出演者として、それぞれ役割をもってまちづくりに取り組むことにより、「地域のことは地域の手で」という気運を育て、地域協働の実現を目指します。「ぬくもり」と「やさしさ」があふれる「元気のある町」、そして誰もが「住んでみたい。住んでよかった。」と思える町にしていきます。

(2) スローガン（将来像）

みんなが愛せる理想のまちへ ~Let's try together!!~

(3) 振興方針

◆ ふれ愛 たすけ愛 Happy な町へ

お互いにふれあい、共にたすけあうことにより子どもや高齢者にやさしく、子育てもしやすいあたたかみのある「Happy な町」を目指します。

◆ みんなでつくろう！手づくりの町へ

道路や公園等の管理や住民活動は、行政の手をなるべく借りずに地域自らの力で実践する「手づくりの町」を目指します。

◆ みんながつながる ほっと安心な町へ

事故や犯罪、災害に対しても安全で、安心して生活することができ、健康づくりにも前向きに取り組む「ほっと安心な町」を目指します。

◆ ほめる しかる これぞ愛 大人と子どもの交流の町へ

子どもも大人も高齢者も世代に関わりなく交流の輪を広げ、そんな中で子どもが育っていく愛があふれる「交流の町」を目指します。

◆ Welcome！歴史再発見 階段の町へ

「地域のお宝」を地域全体で守り育て、次の世代にも引き継いでいく中で、地域の外にも情報発信できる「文化と歴史の町」を目指します。

両城・三条地区まちづくり計画体系図

スローガン

みんなが愛せる理想のまちへ ~Let's try together!!~

大グループの見出し

振興方針

その1

ふれ愛 たすけ愛 happyな町へ

(高齢者と子育てにやさしいまち)
(リーダー: 檜谷さん)

その2

みんなでつくろう! 手づくりの町へ

(インフラ整備)
(リーダー: 檜谷さん)

その3

**みんながつながる
ほっと安心な町へ**

(安心安全, 健康づくり)
(リーダー: 山中さん)

その4

**ほめる しかる これぞ愛
大人と子どもの交流の町へ**

(世代間交流)
(リーダー: 岩井さん)

その5

**Welcome! 歴史再発見
階段の町へ**

(観光資源)
(リーダー: 末永さん)

小グループの見出し

活動方針

各種行事の情報を集めて広報活動を行います。

地域の人が集まれる活動拠点を整備します。

防災・防犯のための活動を行います。また健康づくりにも取り組みます。

テーマを決めて小学校の図書室等を集い、交流を行います。

三城(条)の歴史を若い世代へ語り継ぎ、地域の宝を残していきます。そして我が三城(条)を地域外、市外へアピールしていきます。

活動内容(事業名)

- 1 アンケート調査を行う
- 2 高齢者等の見守り体制を整備する
- 3 高齢者の外出促進運動を行う
- 4 地域の人が小・中学生に授業を行う
- 5 健康づくり運動を行う
- 6 人権教育・啓発推進協議会講演会

- 1 町内一斉清掃を行う
- 2 両城地区の生活道を整備する
- 3 道路等を拡幅する
- 4 手動式ポンプを設置する
- 5 活動拠点の整備を行う
- 6 三条コミュニティ道路の環境整備を行う
- 7 河川敷の清掃を行う

- 1 防犯灯を設置する
- 2 安全マップを作成する
- 3 標識を見えやすくする
- 4 地域内の各種行事に参加する
- 5 いのしし出没対策を行う
- 6 災害避難時の対応等について、検討・提案する
- 7 町民運動会, ソフトボール大会
- 8 ウォーキング大会
- 9 健康教室・運動教室
- 10 体力測定教室
- 11 健康講演会
- 12 交通安全指導(1のつく日)を行う
- 13 登下校時に地域の子供達を見守る活動
- 14 防犯パトロール活動

- 1 あいさつ運動(1のつく日)を推進する
- 2 敬老会の見直しを行う
- 3 学生と他世代の交流の場を設ける
- 4 子どもが主役のイベントを開催する
- 5 子ども祭り(5月5日に両城小学校で開催する)
- 6 秋祭り(大歳神社)
- 7 セタまつり
- 8 敬老会
- 9 二川児童館クラブ行事
- 10 二川児童館, 二川地域活動連絡協議会主催行事

- 1 地域のお宝マップを作成する
- 2 歴史再発見ウォークを行う
- 3 両城・三条地区の昔話, 語り部の会を実施するボランティアガイドを養成する
- 4 地域のお宝の維持保存活動を行う

振興方針	事業名		実施主体	実施計画				
	事業内容			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
「2」みんなでつくろう！手づくりの町へ	① 町内一斉清掃を行う	町内美化のため各自治会で日を決めて町内の一斉清掃を行う。	・地区自治連 ・単位自治会	←————→				
	② 両城地区の生活道を整備する	両城地区(高地部)住民の生活道を確保し利便性を高めるため、例えば、エレベーターや遊歩道の設置などを調査・研究し、行政(呉市)に要望する。	・まちづくり委員会 ・行政(呉市)	<ul style="list-style-type: none"> ・予算を伴う大がかりな事業であるため 必要性を含め検討する ・高齢者が増加するので防災・救急・日常生活の面からも検討する 				
	③ 道路等を拡幅する	住民の生活道を確保し利便性を高めるため、次の道路拡幅を行政(呉市)に要望する。 ◆七曲がり入口付近の道路 ◆かもめ橋の歩行者通路(北側)	・まちづくり委員会 ・行政(呉市)	<ul style="list-style-type: none"> ・予算を伴う大がかりな事業であるため 必要性を含め検討する 				
	④ 手動式ポンプを設置する	以前(戦後)地域内の各地区にあった手動式ポンプは、住民の憩いの場として安らぎを与え、地域コミュニティ構築に寄与していた。これを順次復活させる。災害時の水の確保、打ち水などによる環境保全などの活用方法を検討し、手動式ポンプをツールとしたまちづくりを推進する。	・まちづくり委員会 ・地区自治連	◎1箇所設置	◎1箇所設置	◎1箇所設置	◎1箇所設置	◎1箇所設置
	⑤ 活動拠点の整備を行う	住民の要望をアンケート調査し検討したうえで、空き店舗や小学校等の余裕教室の活用、自治会館・老人集会所の整備を行う。	・まちづくり委員会	←————→				
	⑥ 三条コミュニティ道路の環境整備を行う	三条通の利便性と集客性を高め、賑わいのある通りとして復活させる。(アーケード整備、一方通行についての再検討など)	・まちづくり委員会 ・行政(呉市)	←————→				
	次の各種団体が実施する事業に対し、まちづくり委員会等が協力・支援する。							
	⑦ 河川敷の清掃を行う		・日赤 ・まちづくり委員会	←————→				

振興方針	事業名		実施主体	実施計画					
	事業内容			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	
【3】みんなが つながる ほっと安心な 町へ	①防犯灯を設置する	地域内の実態調査を行い、必要箇所や明るさの度合いなどを確認し、順次設置していく。 チェック箇所・両城中学校に上がる坂道、陸橋下（東側の両城小学校から済生会呉病院までの道）	・まちづくり委員会 ・地区自治連 ・中国電力	◎歩いてチェック	←	→			
	②安全マップを作成する	地域内を点検して犯罪危険箇所を確認し、マップにしてまとめる。その後子どもと一緒にワークショップを行い、安全対策を検討する。	・まちづくり委員会 ・二川地域協議会	◎歩いてチェック、ワークショップ開催	←	→			
	③標識を見えやすくする	三城通商店街の一方通行について、パトロールを行って改善点を明確にし、行政への呼びかけなど取り組んでいく。	・まちづくり委員会 ・交通安全推進協	◎実態調査	←	→			
	④地域内の各種行事への参加促進に努める	地域内各種団体が実施する事業・行事の事業効果を高めるために、内容・時期の見直しやポスター作成、掲示など広報等に取り組む。	・まちづくり委員会	◎実態調査	←	→			
	⑤いのしし出没対策を行う	実態調査を行い、防御柵の設置場所の選定、設置を行う。	・まちづくり委員会 ・行政（呉市）	◎実態調査	←	→			
	⑥ 災害避難時の対応等について、検討・提案する	(1) 自主防災組織の活動の強化、充実に取り組む。 (2) 避難所のあり方や運営など、自助・共助・公助の役割分担を踏まえた、災害対応を検討し、必要に応じ行政（呉市）への提案を行う。	・まちづくり委員会 ・自主防災組織 ・民児協 ・日赤 ・行政（呉市）	◎実態調査	←	→			
	次の各種団体が実施する事業に対し、まちづくり委員会等が協力・支援する。								
	⑦町民運動会、ソフトボール大会		・地区自治連 ・中央西体協		←	→			
	⑧ウォーキング大会				←	→			
	⑨健康教室・運動教室		・運推協		←	→			
	⑩体力測定教室			←	→				
	⑪健康講演会			←	→				
	⑫交通安全指導（1のつく日に行う）		・交通安全推進協 ・補連協		←	→			
	⑬登下校時に地域の子ども達を見守る活動			←	→				
⑭防犯パトロール活動		・防犯連		←	→				

振興方針	事業名	実施主体	実施計画				
	事業内容		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
〔4〕ほめる しかる これぞ愛 / 大人と子どもの交流の町へ	① あいさつ運動(1のつく日)を推進する 「声かけ週間」の実施などきっかけづくりのイベントを行い、町内全員が相手に聞こえるような声かけができるよう、呼びかけを行う。	・まちづくり委員会 ・交通安全推進協 ・補連協 ・小中高校	◎実施				
	② 敬老会の見直しを行う 簡易なアンケート調査を行うなど、参加者の意見を聞き、実施内容の見直しを行う。	・まちづくり委員会 ・地区社協	◎実施				
	③ 学生と他世代の交流の場を設ける 呉陸橋下・小学校図書室・空き店舗及び消防屯所など設ける場所を検討する。 何をするか(みんなで歌を歌うなど)イベントを考える。 防災訓練と併せて飯ごう炊さんを行うなど、既存事業をより充実させて参加を図る。	・まちづくり委員会 ・地区自治連	◎実施				
	④ 子どもが主役のイベントを開催する。 呉陸橋下で各家庭の不用品を集めてフリーマーケットを行うなど、子どもが中心になって企画し実施する。「ささやかな夏祭り」「フリーマーケット」「ウォーキング大会(ゲーム付き)」など1つテーマを決めて実行する。	・まちづくり委員会	◎実施				
	次の各種団体が実施する事業に対し、まちづくり委員会等が協力・支援する。						
	⑤ 子ども祭り (5月5日に両城小学校で開催する)	・地区社協					
	⑥ 秋祭り(大歳神社)	・大歳神社氏子総代会 ・交通安全推進協					
	⑦ 七夕まつり	・地区社協					
	⑧ 敬老会	・地区社協					
	⑨ 二川児童館クラブ行事	・二川児童館					
⑩ 二川児童館、二川地域連絡協議会主催行事	・二川児童館 ・二川地域協議会						

振興方針	事業名		実施主体	実施計画				
		事業内容		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
【5】 Welcome! 歴史再発見 階段の町へ	①	地域のお宝マップを作成する 地域内外に向けて両城・三条地区限定版の地域の宝を紹介するマップを作成する。	・有志による策定部会		←→			
	②	歴史再発見ウォークを行う お宝マップをもとに地域をみんなでウォーキングする。隠れた地域のお宝や歴史触れることにより、地域を愛する心を育て、健康づくりも兼ねる(地域外の人也大歓迎)。	・まちづくり委員会		←→			
	③	両城・三条地区の昔話 語り部の会を実施する ボランティアガイドを養成する 戦前・戦中の貴重な体験談を子ども達に伝えたり、体験を文集のような形で残す。風化しつつある地域の「歴史」を後世に残していく。②の歴史再発見ウォークにはボランティアガイドも参加する。	(仮称) ・語り部の会		←→			
	④	地域のお宝の維持保存活動を行う 清掃, 修理, 案内板設置など地域のお宝を大切にし, 分かりやすくすることによりお宝を磨き, その存在価値をさらに高めていく。	・地区自治連 ・有志		←→			

6 計画策定までの流れ

(1) 子ども・住民参画による「まちづくりワークショップ」

三条地区の地域まちづくり計画を検討するため、三条地区まちづくり委員会が呉大学(現広島文化学園大学)とNPO(呉子どもNPOセンター^{わいわいわい}YYY)の協力を得て、まちづくりワークショップを開催しました。このワークショップは、2月と3月に計4回開催し、三条地区の地域の宝や課題を整理しました。地域の小中学生なども参加し、若者の視点での意見や提案が出され、次世代のためのまちづくりのヒントを得ることができました。毎回30~50人のメンバーの参加があり、子どもから高齢者までの幅広い地域の皆さんの意見をまとめることができました。

三条地区まちづくり委員会は

自治会を中心とした **地域部会**

若いお母さんたちの **ママ部会**

三条地域在住の呉市 **職員部会**

の3つの部会で構成しています。

行事名	第1弾 三条地区まちづくりワークショップ「こんなまちにしたいなあ」	
日時	平成21年2月14日(土)10:00~12:00	
場所	両城小学校	
参加人数	50名(うち小学生4名, 中学生6名)	
	<p>ワーク ~三条地区にあったらよいもの, ことを考えよう~ 「こんなものがあつたら良いなと思うもの」や「あつたら良いなと思うこと」をみんなで出しました。祭り・もちつきなどのイベント, 病院・コンビニなどあつたら便利なもの, 夢など, 幅広くさまざまな意見が出され, 今回のワークショップ自体が, 地域の人々が互いに言葉を交わし集うきっかけにもなりました。</p>	

行事名	第2弾 三条地区まちづくりワークショップ「実際に歩こう！」	
日時	平成21年2月28日(土)10:00~12:00	
場所	三条地区内	
参加人数	54名	
	<p>商店街等の平地を歩く1グループ, 2グループ, 丘方面を歩く3グループの3つに分かれ, 約1時間半かけて各コースを回りました。地域のことに詳しい方が, ポイントごとに丁寧に説明を行い, 改めて地域を見ることで, 今まで見えてなかったものがたくさんあり, 他世代の人と一緒に回ることで新たなつながりができました。</p>	

行事名	第3弾 三条地区まちづくりワークショップ「地図を作ろう！」	
日時	平成21年3月14日(土)10:00~12:00	
場所	両城小学校	
参加人数	約40名	
内容	第2弾ワークショップでポイントごとに作成した「記録カード」と撮影した「写真」を合致させ、模造紙大の大きな地図の上に貼り付けていきました。写真や記録を見ながら、みんなで歩いた感想を出し合ったり、前回参加しなかった人から新たに意見が出たり、色々な意見をまとめていきながら地域の地図を作製しました。	

行事名	第4弾 三条地区まちづくりワークショップ 「いよいよ三条地区の未来予想図を創り始めるぞ！！」	
日時	平成21年3月28日(土)10:00~12:00	
場所	両城小学校	
参加人数	38名	
内容	第1弾ワークショップ、第2弾まち歩きで出てきたもの(ハード)とすること(ソフト)をカード化し、模造紙に、あったらいいなと思う【課題】と【自慢(宝)】に分類していく作業を行いました。次は似たような内容のカードを集めてグループ化し、頭をひねりながら、分かりやすくてびつたりくる名前を考えていきました。最後にグループ化したものを更に大きくくりまとめて、まちづくりのスローガンを導き出しました。中学生が中心になって考えたカタカナ入りの若者らしいスローガン、コンパクトで分かりやすいスローガンなど、どれも三条地区への強い思いが込められたものとなりました。	

番外編

行事名	八畳岩 山登り！	
日時	平成21年4月11日(土)9:30~11:30	
参加人数	約30名	
内容	ワークショップのまち歩き探検で実際に地域を歩く中で、改めて地域のお宝を発掘したメンバーたち。お花見の季節に「清掃活動を兼ねて山に登ろう！」という声が出ました。そこで急きょ企画となり、ワークショップのメンバーで山に登ってきました。八畳岩から見たわが町呉の景色は最高！！三条地区はもちろん、呉の町ってこんなに素晴らしい町だったんだなと改めて実感できた「山登り」でした。	

(2) 計画策定部会

ワークショップ最終回で計画策定部会のメンバーを公募し、また地域内にも広報で広く呼びかけて、手を挙げた中学生3人をはじめ15名のメンバーが、ワークショップで出た意見をもとに計画策定を行いました。

広島文化学園大学の大藤教授や（特活）呉こどもNPOセンターYYY 山本和子さんのアドバイスを受けながら、合間でリーダー会議も開いて何度も議論を重ね、この計画を策定していきました。



行事名	★第1回計画策定部会
日時	平成21年6月6日(土)10:00~12:00
場所	両城小学校
参加人数	18名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・振興方針のグループリーダーと計画策定部会長を決定 ・ワークショップで出された各グループの案を協議し、計画の振興方針を決定 ・振興方針ごとの具体的な活動方針を決定

行事名	◆第1回計画策定部会リーダー会議
日時	平成21年6月10日(水)14:00~16:00
場所	海岸消防屯所
参加人数	9名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回計画策定部会の内容の見直し ・第2回計画策定部会の協議内容を検討

行事名	★第2回計画策定部会
日時	平成21年6月20日(土)10:00~12:00
場所	両城小学校
参加人数	19名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の策定 (事業ごとの事業内容, 実施主体, タイムスケジュールを検討)

行事名	◆第2回計画策定部会リーダー会議
日時	平成21年7月2日(木)13:30~17:30
場所	海岸消防屯所
参加人数	7名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回計画策定部会で検討した内容を再度見直し, 重複部分等を整理

行 事 名	◆第3回計画策定部会リーダー会議
日 時	平成21年7月7日(火)10:00~12:00
場 所	海岸消防屯所
参加人数	7名
内 容	・第2回計画策定部会で検討した内容を再度見直し、重複部分等を整理

行 事 名	まちづくり委員会へ中間報告
日 時	平成21年7月9日(木)14:30~16:30
場 所	二川公民館
参加人数	12名
内 容	・まちづくり委員会へ中間報告及び協議

行 事 名	★第3回計画策定部会
日 時	平成21年7月11日(土)10:00~12:00
場 所	両城小学校
参加人数	19名
内 容	・実施計画(案)の見直し (第2回計画策定部会で協議した内容を踏まえ、リーダー会議で検討した各事業内容、実施主体、タイムスケジュールについて再検討)

行 事 名	★第4回計画策定部会
日 時	平成21年7月18日(土)10:00~12:00
場 所	両城小学校
参加人数	19名
内 容	・スローガンの検討・決定、計画書の内容精査、今後の継続について検討

行 事 名	★第4回計画策定部会リーダー会議
日 時	平成21年8月3日(月)13:30~16:30
場 所	両城小学校
参加人数	9名
内 容	・まちづくり計画の精査、アンケート内容、配布・回収方法について検討

行 事 名	まちづくり委員会への中間報告2
日 時	平成21年8月5日(水)13:30~16:30
場 所	両城小学校
参加人数	10名
内 容	・まちづくり計画の精査、アンケート配布・回収依頼

7 計画策定に関わったメンバー

(1) 三条地区まちづくり委員会(平成21年6月末現在)

三条地区まちづくり委員会の役職	氏名	団体名
会長	山上 文恵	呉市二川地域活動連絡協議会会長
副会長	荒谷 一	大歳神社氏子総代会代表(責任役員)
副会長	川本 昌亮	三条地区青少年補導員連絡協議会会長
会計	中本 政人	第9区社会福祉協議会副会長
監事	林 明美	第9・10区民生委員児童委員協議会副会長
監事	若山 元子	日本赤十字奉仕団三条分団副団長
(委員)	井石 光治	三条地区自治会連合会会長
(委員)	岩井 博之	第9区社会福祉協議会会長
(委員)	相原 志津馬	三条地区自治会連合会会計
(委員)	太田 公史	三条地区青少年補導員連絡協議会監査

(2) 計画策定部会 (次の役職を含め公募により15名参加)

役職	氏名
部会長	布村 征司郎
1グループリーダー	檜谷 清司
サブリーダー	高橋 智美
サブリーダー	吉原 信男
2グループリーダー	檜谷 清司
サブリーダー	田原 昌明
3グループリーダー	山中 典之
サブリーダー	河田 重徳
4グループリーダー	岩井 博之
サブリーダー	田原 莉花
サブリーダー	井手元 綾
サブリーダー	佐伯 航一郎
5グループリーダー	末永 哲夫

(3) ワークショップ・計画策定部会の参加者

実参加人数 71名 (うち小学生6名, 中学生7名)

(五十音順)

氏名	氏名	氏名	氏名
相原 梢江	相原 信吾	相原 孝信	荒谷 隆太郎
荒谷 一	井手元 綾	井石 光治	今泉 なな子
今泉 洋子	岩井 博之	植木 稔	悦木 忠徳
太田 公史	大藤 文夫	奥野 彰	岡本 知子
小川 忠夫	沖本 正樹	尾崎 満夫	香川 節子
河田 重徳	川本 昌亮	北川 沙織	国吉 慧子
久保 直美	高祖 あみ	小城 剛史	後藤 舞
佐伯 航一郎	佐藤 慎二	末永 哲夫	瀬川 朋
高橋 愛理	高橋 聖奈	高橋 智美	竹原 剛
谷 美緒	田原 昌明	田原 莉花	出崎 恵子
土肥 小百合	豊田 世利子	豊丸 聡子	西川 容子
西田 恵美	西田 にこ	西田 日向子	西原 千里
西山 善也	布村 征司郎	林 明美	日高 正子
日高 遥太	日高 里菜	檜谷 清司	福田 聖子
藤井 香織	藤井 智也	古土 みなみ	星野 文吾
松本 侑也	真鍋 由紀子	三原 加裕	元山 尚
安永 始	山上 文恵	山口 若菜	山中 典之
山本 和子	吉原 信男	若山 元子	

(4) アドバイザー

所属	氏名
広島文化学園大学	教授 大藤 文夫
(特活)呉こどもNPOセンターYYY	理事長 山本 和子

(5) 協力 (地区住民以外の参加者)

所属	氏名	
広島文化学園大学 大藤研究室	星野 文吾	真鍋 由紀子
	後藤 舞	山口 若菜
	北川 沙織	小城 剛史
(特活)呉こどもNPOセンター YYY	久保 直美	福田 聖子
	谷 美緒	瀬川 朋
	西川 容子	
呉市市民部 地域協働課	河野 隆司	瀧川 雅子

8 地域内の各種団体一覧

平成 21 年 6 月末現在

	名称	略称 (実施計画で使用)	代表者 (又は地域内の窓口)	連絡先
1	三条地区自治会連合会	地区自治連	井石 光治	22-0052
2	三条地区人権教育・啓発推進協議会	人推協	井石 光治	22-0052
3	第9区社会福祉協議会	地区社協	岩井 博之	69-3380
4	三条地区青少年補導員連絡協議会	補連協	川本 昌亮	23-9811
5	三条地区交通安全推進協議会	交通安全推進協	川本 昌亮	23-9811
6	第9区・第10区民生児童委員協議会	民児協	林 明美	24-2033
7	呉市日本赤十字奉仕団三条分団	日赤	若山 元子	21-4620
8	両城・三条地区健康づくりのための 運動普及推進協議会	運推協	尾崎 満夫	21-2180
9	呉市防犯連合会三条地区連合会	防犯連	井石 光治	22-0052
10	自主防災組織		井石 光治	22-0052
11	呉市二川児童館	二川児童館	岩下 啓子	21-2205
12	呉市二川地域活動連絡協議会	二川地域協議会	山上 文恵	25-0567
13	みのりクラブ(卓球)		宇根 京市	21-2247
14	大歳神社氏子総代会		荒谷 一	21-2972
15	呉市立両城小学校		佃 恵子	21-4866
16	呉市立両城中学校		安田 英幸	21-4661
17	両城小学校PTA		川口 東洋	26-5371
18	両城中学校PTA		高越 光久	21-8085
19	呉第一保育園		杉峰 ふさみ	21-4059
20	呉市消防団湾岸分団		中村 丈二	22-9681
21	呉市中央西体育協会	中央西体協	日高 輝雄	21-7044
22	三寿会		亀田 八千代	21-3355
23	呉警察署海岸交番			21-5594

9 おわりに

私たちは、このまちづくり計画策定に関わり、本当に良かったと思っています。皆で意見を出し合い、そして話し合う、そしてそれがまちのためになるのなら、これ以上にうれしいことはありません。すごく貴重な体験でした。また、このような機会があれば、進んで参加したいと思います。

呉市立両城中学校 読書文芸部

(写真左から) 井手元 綾 (2年)
田原 莉花 (2年)
佐伯航一郎 (2年)



呉市立両城小学校 校歌



作詞 沖濱 九郎 作曲 山本 秀

- 1 有崎山の 峰高く
巖に羽ばたく 若たかは
風に翼を ひるがえし
天雲遠く 翔りゆく
ああ この力
両城の校庭に みなぎる
- 2 呉の港の 底知らず
湧きて流るる 海潮は
深き碧を たたえつつ
世界のはてに 巡りゆく
ああ この心
両城の学窓に あふるる
- 3 栄ある歴史 受けつぎて
日に新たなる 校風は
胸に佩たる 校章の
旭と永遠に 伝えゆく
ああ この光
両城の空に かがやく

呉市立両城中学校 校歌



作詞 沖濱 九郎 作曲 坂部 僚之

- 1 松の緑の 色映ゆる
高き理想の この丘に
清新の気は みなぎりて
平和の鐘は 鳴り響く
登る旭日の 燦然と
あ、両中に 光りあり
- 2 波暖かに かもめ浮く
奇しき眺めの 瀬戸の海
白帆の影の 涯遠く
今し希望の 雲は湧く
めぐる潮の 洋々と
わが両中に のぞみあれ
- 3 学びの庭の 朝夕に
深き真理を たづねつつ
祖国の文化 になう身の
重き使命を 果たさなん
こぞる生気の はつらつと
両中健児に 栄あれ

策定年月：平成 21(2009)年 9 月

編集・発行：三条地区まちづくり委員会